

少子高齢化が進み価値観の多様化した社会では、行政の限られた財政のなかで多岐にわたるニーズに応えていかなければならないため、公共サービスのあり方が問われています。従来の行政の枠組みではできないことを実現していくために、いま国と地方をあげて「新しい公共」の担い手を育てるための取り組みが始まっています。

私たちは、暮らしの基盤である「住まいとまちづくり分野」において、住民・行政・事業者の強力なパートナーシップで、市民のまちづくりへの主体的な取り組みを支援する組織が必要であると考え「越谷市住まい・まちづくり支援センター(仮称)」（以下、「支援センター」という。）の設立に向けて活動をはじめました。

まず、この構想にご理解のある諸団体や企業、まちづくりに関心を持っている専門家や市民の皆さんと一緒に課題を共有することから始めたいと考え、7月に第1回目の勉強会を開催しました。市民、事業者、行政をはじめ専門家、金融機関まで幅広い分野の方々60名の参加者で用意した会場が満杯になり、終了後のアンケートでも貴重なご意見を多数お寄せいただきました。これも関係各位のご支援ご協力の賜と御礼申し上げます。

これから、当発起人会が提言する「支援センター」の設立とその後の運営のために、そして越谷市のまちづくりのために、様々な能力を発揮してくれる頼もしい仲間を募りたいと思います。2回目以降も是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。



## 第2回勉強会

### まちの未来、ひとの役割～「越谷市第4次総合振興計画と、その実施課題」

平成23年9月30日(金) 18:30～20:30

越谷市中央市民会館第2会議室(越谷市越ヶ谷4-1-1 TEL. 048-966-6622)

- 講師:越谷市企画部企画課 副部長兼課長 立澤 悟氏  
越谷市協働安全部市民活動支援課 課長 石川 実氏  
コメンテーター:東京理科大学非常勤講師 杉崎 和久氏  
コーディネーター:支援センター設立発起人会 若色 欣爾
- 主催:越谷市住まい・まちづくり支援センター(仮称) 設立発起人会
- 後援:越谷市、越谷市街づくり協議会

第1回目の勉強会では、「まちづくりセンターを取り巻く課題」のテーマで

東京理科大学非常勤講師 杉崎和久氏(まちづくりコーディネーター、ファシリテーター)のご講演で

全国に設置されているまちづくりセンターの現状と問題点を報告いただき、越谷市にあった支援センターを考えました。

第2回目は、「越谷市の第4次総合振興計画」と来年開設予定の“市民活動支援センター”の概要を、市の担当職員からご説明いただき、当発起人会が提案する支援センターの活動が市の施策のどのような部分に関連してくるのか、さらに越谷市とのパートナーシップ・連携を探りたいと考えています。前回の講師である杉崎和久氏にもコメンテーターとしてご参加いただきます。



支援センター設立に向けて、今年度は下記スケジュールの活動を予定しております。  
各回要項は決定しだい順次ご案内しますので、ご希望の方は連絡先・メンバー登録をお願いします。

2回目は  
これ!



- ①平成23年7月…勉強会「まちづくりセンターを取り巻く課題」東京理科大・杉崎和久氏
- ②平成23年9月…勉強会「越谷市第4次総合振興計画とその実施課題」越谷市担当職員
- ③平成23年10月…先進事例の視察(数力所予定)
- ④平成23年11月…勉強会「越谷市における市民事業の可能性と課題」
- ⑤平成24年1月…勉強会「越谷市に適した支援センターの仕組みについて」
- ⑥平成24年3月…設立総会「記念講演 新しい公共を拓くまちづくり」

※参加ご希望の方は、本チラシ裏面の参加申込書にご記入の上、FAXするか、メールにてお申込みください。